

操縦飛行体験SKYCAMPプログラム

操縦飛行体験SKYCAMPプログラム(通称:SKYCAMP)とは、鹿児島大学、日本航空株式会社(JAL)、日本エアコミューター株式会社(JAC)の3者が、「地域密着型パイロット人財創出プログラムの実施に伴う連携協力に関する協定」に基づき、愛郷心のある人財の育成、および地域創生の実現に寄与する機会として実施する実践型の“インターンシップ”です。

最大8名の学生が約2週間のSKYCAMP※に参加することができます。さらに、参加学生の中から、エアラインパイロットの可能性を秘めた最大2名に対して、鹿児島大学卒業(修了)後、養成機関となるJALグループ訓練センター(東京)およびオーストラリアにてパイロットライセンス取得訓練(約2年間)を提供、その間に必要な資金を鹿児島大学・JAL・JACで支援し、JACのパイロットとして従事することになります。

※SKYCAMPは、翌年度、卒業(修了)の学年が対象です。

SKYCAMP参加



選考後、JACの条件付内定を得た学生は、鹿児島大学卒業(修了)後、養成機関へ



ライセンス取得訓練

JAL訓練センターおよびオーストラリアで行います



JAC入社



本プロジェクトは、「鹿児島大学稲盛和夫基金」を原資として実施しています。

鹿児島大学では、空飛バインターンシップを行っています。理系・文系問わず、誰でも参加チャンスがあります。鹿児島大学でしかできないこの体験、チャレンジしてみませんか？



説明会の講師は、現役のパイロット！その他、様々な場所を見学することができます。

5期目となる令和6年度は、法文学部、理学部、工学部の3年生、共同獣医学部の5年生、理工学研究科の修士1年生と多様な学部・研究科から選出された8名が参加しました。学生たちは、鹿児島空港に隣接するフライトトレーニングセンターで、座学やフライトシミュレーターによる操縦訓練、JAC運航便のコックピットに同乗し、パイロットの仕事の直接見学しました。プログラムの醍醐味は、実際に自分の手で飛行機を操縦することです。

大学上空や長崎までのフライトを体験し、2週間のインターンシッププログラムを全員が修了しています。



SKYCAMPの様子(3期生)がKKB(鹿児島放送)で特集されました。

SKYCAMPが日本航空機内誌「SKYWARD」に掲載されました。